

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

傑出した技術力を最初から持つ会社などない 稲盛 和夫（京セラ創業者 22年8月、90歳で逝去）

1. 京セラは、ファインセラミックスという新しい素材をいち早く取り扱い、従来は工業用材料となり得なかったファインセラミックスを工業用材料として確立させ、さらに何兆円という規模を持つ産業分野として成長せしめた、いわゆるパイオニア企業と断言していいかと思えます。多くの人々は京セラの技術開発力にあると考えています。
2. しかし、傑出した技術力を最初から持っている中小企業など、ひとつもないはずで、常に創造的な仕事を心がけ、今日より明日、明日より明後日と改良改善をしているかどうかで、独創的な経営ができるかが決まってくるのです。新しい開発をするには、「楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する」ことが必要です。
3. まず、「こういうものをやりたい」と思うときは、楽観的に考えるのです。「それは難しい、それは困難だ」と悲観的に考えてはいけません。しかし、実際に具体的な開発計画を立てるときには、厳しい現実を直視し、開発のどこが難しいのかを認識して、悲観的になるべきです。そのうえで、「よし、これでやろう」と開発を始めたときには、難しいことは考えず、「絶対やれるはずだ」と非常に楽観的に進めていくことが、開発をするときの心構えです。

(参考:「日経ビジネス」2022年11月28日号)

経営者のため経済学

底なし沼から抜け出せない日本

佐々木 融

(JPMorgan・チェース銀行市場調査本部長)

1. 日本はエネルギーや食品の多くを輸入に頼っている。円安が続けば国内の物価は全体的に上昇圧力を受ける。その物価の上昇を抑えるために政府が支出をするので、日銀が金融政策を正常化できない。すると他国が利上げ局面にあるか、または金利を高水準に維持している限り、円安は続く。円安が続けば国内の物価は上昇圧力を受ける。
2. 日本は以前からこうした底なし沼にはまっていたとも考えられる。これまで世界的にディスインフレ状態が続き、金利水準も低かったため、底がないことに気づけなかった。しかし、世界は以前のようなディスインフレには戻らず、インフレ率高騰はピークアウトしたとしても、比較的高水準のインフレ率・金利が続くだろう。沼の底は簡単には戻ってこないだろう。

(参考:「週刊東洋経済」2022年11月26日号)

経営者のための危機管理

企業を襲う「六重苦」

1. コロナ禍からの出口が見え、ゼロゼロ融資の終了など支援策が一段落し始めた。そこに、経済環境が激変し、倒産を増やす要因が「六重苦」となって企業を追い込んでいる。
2. (1)「超円安」…「円安倒産」は22年度上半期は14件発生し、前年同期から7倍になった。(2)「物価高」…「物価高倒産」は22年上半期は159件と、前年同期から倍増した。(3)「ゼロゼロ融資終了」・(4)「コロナ」…ゼロゼロ融資の返済開始も倒産の引き金だ。22年上半期の倒産件数は202件で、前年同期の2.6倍だ。(5)「人手不足」…人の奪い合いの激化。中小・零細企業の中には賃上げしても人手を確保できず倒産する。(6)「高齢化」…死亡や体調不良といった、経営者の高齢化による倒産は22年度上半期97件占めた。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2022年12月10日号)

古典に学ぶ

この世に存在するすべてを受け入れる

1. その教えの根本には、この世に存在するすべてのものを受け入れ、絶対的に肯定するという徹底した姿勢がありました。
2. 空海の世界観は曼荼羅によく表されています。曼荼羅とは、簡単にいえば宇宙の様相や悟りの世界を表した図で、さまざまな種類があります。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)